



校長室だより

武生第五中学校 校長室

令和8年1月8日(木)

第15号



新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

冬休みはいかがでしたか？雪国ならではの厳しい寒さが続いています。子どもたちの元気な声が校舎に戻り、学校に活気が戻ってきました。やはり、みなさんの笑顔が学校の一番の力です。

3学期のスタート

3学期は1年間のまとめと次の学年への準備の大切な時期です。学習面では、これまでの成果を振り返り、苦手を克服する最後のチャンスです。生活面では、卒業や進級に向けて心を整え、準備する時期でもあります。特に3年生は、義務教育の締めくくりとして、進路決定や卒業式に向けて一日一日を大切に過ごしてください。1・2年生も、次の学年に自信を持って進めるよう、今できることをしっかり積み重ねていきましょう。

世の中の話題と私たちの姿勢

今年は「午年」、干支では「丙午（ひのえうま）」です。「午」は勢いよく駆ける馬を表し、前進や行動力の象徴とされています。さらに「丙」は陽の気が強く、物事を明るく発展させる意味があります。世界ではAIや再生可能エネルギーなど新しい技術が注目され、日本では能登半島地震の復興支援や物価高への対応など、社会全体が「変化への対応」を求められています。福井県では新しい知事、越前市では新しい市長の選出、みなさんの身の回りでも、「変化に対する対応」などもあると思います。私たちも、午年らしく力強く、前向きに挑戦する姿勢を大切にしていけたらと感じています。学校生活の中でも、新しいことに挑戦する勇気を持ち、失敗を恐れず学び続けることが、未来への力になると信じて、生徒のバックアップができたらと考えております。

安全と健康に気をつけて

雪道の通学は危険も伴います。保護者の方々の通勤も含めまして、安全第一で時間に余裕をもって登校・出勤していきたいものです。もちろん、体調管理も忘れずに、手洗い・うがいを徹底し、インフルエンザや感染症の予防に努めていただけたらと存じます。保護者のみなさまには、引き続きご理解とご協力をお願いします。今年も、子どもたち一人ひとりの成長を支える学校づくりに努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

箱根駅伝をみて（雑感）

私は、母校や教え子、または福井県出身の選手が出場していたりすることで、必ずテレビ観戦をしてしまいます。いつしか自分の中で、新年を迎えるための風物詩となっていました。そんな中で耳にするフレーズに、「母校の名誉をかけて」「タスキにこめた・・・」ときには「男だろ！」とか、現代の中学生諸君にはピンとこないフレーズがあったりもします。

優勝した青山学院大学の原監督の今年のテーマは「輝け大作戦」でした。毎年ウケを狙っているのかなと思われがちですが、かなり深い考えが隠れているようです。携わった全員が、ゴールの大手町に戻ってきたときに輝けるように、「チーム全員が、うまくいったとは言えなかったかもしれないけど、全員が輝けました。」とあるように毎年テーマを発表しています。

「五中生やしらやまの子たちも」も輝ける瞬間はありましたが、感動はありましたか？輝くためには、現代ではあまり聞かなくなったフレーズや叱咤激励の言葉たちも、大切なのかなと感じました。原監督でさえも往路のレース後、涙していました。5区の黒田選手の圧巻の走り、チーム全員の気持ちがひとつになっていたことに「感動」したそうです。みなさんは「本当の感動」をしたことありますか？